

1. 2000年度ロータリー米山記念奨学会 事業計画・収支予算が承認されました！

主な計画・課題は、ロータリーの精神に基づき国際理解と親善の促進、知的国際貢献に寄与する。奨学金支給の成果を身近に感じることができるよう、学友（元奨学生）の活躍を把握し、広報を行う。また、学友会発展に努める。寄付増進。厳しい経済状況を認識し、経費節減に努める。などです。

2. 2000年6月23日開催の理事会・評議員会において、台湾のR I 第3520地区の有志により結成された「米山奨学金委員会」の代表者が来日し、理事・評議員による歓迎昼食会が開かれました。

委員会の主委（委員長）頼東明氏（台北北区ロータリー・クラブ）から、台湾でも当奨学会が高い評価を得、お世話になった奨学生がご恩返しをしなければならぬと願っていることなどの内容のご挨拶がありました。

「米山奨学金委員会」からお礼のしるしとして120万円が寄付され、当奨学会から感謝状をお贈りしました。

3. 理事・評議員フォーラムを開催しました。

2000年6月23日理事会・評議員会のプログラムの中で、理事・評議員フォーラム～もう一度考えよう米山奨学事業～を行い、目的・理念の確認、奨学事業の問題・課題・対応策などについて自由に討論を行いました。

フォーラムの感想として、約半数の参加者が参考になったと答えています。中でも、指定校および大学推薦制度については、おおかたの地区が今後施行を希望しておられます。また、当会の特色であるカウンセラー制度を充実させるべきであるとのことでした。2002年の制度改編に向けて、具体的に制度の整備をしていきます。

4. 元米山奨学生から感謝の寄付！

(1) 1999年3月に終了した元奨学生が、就職して以来毎月給与の一部を貯金して、世話クラブであった東京城西ロータリー・クラブ（2750地区）を通して寄付しました。

(2) 学友会（東京）は、昨年総会の際に「にこにこボックス」で募金を集め、今年の活動費を節約して、一部を寄付しました。

その他にも、個人で特別寄付を続ける元奨学生がいます。

少しずつロータリーの歯車が回り始めているようです。

お願い：当会でこのような情報を把握するのは困難なため、寄付を經由したクラブ様、地区の米山奨学委員長様に情報提供のご協力をいただきたいと思っております。